

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年末の12月16日、「生活の安全保障・物価高への対応」、「危機管理投資・成長投資による強い経済の実現」等を柱とした国土交通省港湾局関連の補正予算が成立しました。

愛媛県は、美しい景観が広がる瀬戸内海および宇和海を臨む51の港湾を有し、それぞれの港湾は、「地域産業の発展」や「人々の豊かな暮らし」を支えるために大きな役割を果たしています。

このような背景からも、引き続き、関係機関の皆様にご協力をいただき、必要となる港湾整備事業を進めて参ります。

また、当事務所では、関係者のみなさまのご協力により、令和8年3月には松山港外港地区岸壁（水深13m）の延伸および東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業が完了する予定になっており、引き続き、松山港では吉田浜地区防波堤の延伸、

松山空港では構内道路の改良および滑走路端安全区域の護岸整備の他、開発保全航路の維持事業や、海洋環境整備船「いしづち」による浮遊ごみ回収を実施して参ります。

さらに、港湾計画の改訂、みなとオアシスの発展、クルーズ船の誘致等に向けた港湾管理者の支援も行って参ります。

本年も、所員一丸となって各種施策を推進して参りますので、引き続き、ご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

